

No.51 2011, Nov.

11 月・生神金光大神大祭号

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

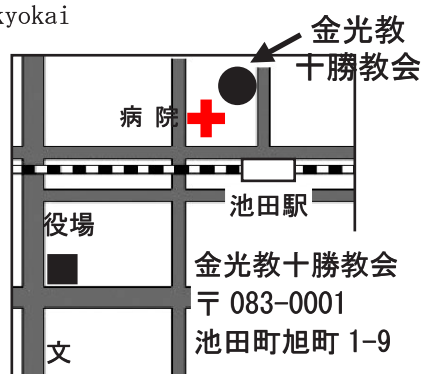
IKEDA

☎ 015-572-2322  
fax 015-572-4213

# 十勝教会



## だより 51

金光教  
十勝教会

金光教十勝教会  
〒083-0001  
池田町旭町 1-9

## 天地書附をいただく

金光教十勝教会

生神金光大神

天地金乃神 一心に願

おかげは和賀心にあり  
今月今日でたのめい

私たちが御神前や神棚に掲げ、毎日の御祈念や祭典で奉体している（唱えている）「天地書附<sup>かきつけ</sup>」と呼ばれる書附があります。これは、明治6年、教祖様が役所から無資格での宗教行為を禁止された際に、天地金乃神様から書きためておくように仰せつけられたものです。後に教祖様はお参りされる方々にこの書附をお下げになられるようになりました。

教祖様はこの書附について

「今月今日で頼めい、おかげは和賀心にありという見識を落としたら世が乱れるぞ、神々のひれいもなし。親のひれいもなし。」

と仰っています。また併せて

「これは、けっして守り（お札・お守り）ではない。朝夕によく見える所へはつておくのじゃ。そしてこれを忘れぬようにしておればよい。書いたとおりを忘れずにいたら心配はない。」

と教えられています。

つまりこの書附は「一般にあるようなお守り札ではない」、「書附の身をちゃんと自分自身に納めること」が大事であると言われたので

す。そして金光教ではこの「天地書附」を信心の「要」であるとしています。



この「天地書附」の中身を読み解いてみると、「生神金光大神様の御取次を頂いて、天地金乃神様に一心に願え」、「おかげはそれぞれのお心、そして和（やわらぎ）賀（よろこぶ）心にある。それを忘れずに日に日に新たな心持ちで神様に向かえ（頼め）」と読むことが出来ます。これは、日に日に新たな心で神様へ向かへという信心する我々の在り方を説いているように読めます。

さらにこの「書附」には別の読み方があることをある先生が教えられています。「天地金乃神様が、生神金光大神を差し向け、一心に氏子の立ち行き願って

るぞ」、「そのおかげはそれぞれの心、和賀心になることで現れる、だからそのことを忘れることなく日に日に新たに神様に向かえ（頼め）」というものです。これは天地金乃神様が私たち氏子のことを願ってくれているということを現したものだということです。つまり、この「天地書附」は、氏子（人）の信心の目安であると共に、神様の我々氏子への思いが現されているものであるということです。



天地金乃神様は私たち氏子の立ち行きを常に願ってくれています。もしそうであるならば、我々は何の心配もなく、安全に安心して日々を暮らせるはずです。天地のお働きそのものである天地金乃神様が天地に生きる氏

子の立ち行きを願ってくれるのですから、我々はその立ち行きを願う働きの中に保護されているようなものなのです。しかし、現実はどうでもありません。我々人間は様々な悩みや問題を抱えて生きています。何故でしょうか。そこには神様の願いが成就しない問題があるのかもしれません。

一つ言えることは、そこには私たちの「神様への願い」が抜けているということです。神様は私たちの立ち行きを願ってくれています、しかし、私たち氏子（人間）は神様のことを願っているのでしょうか？神様の「氏子の立ち行きを願う働き」が十全に行われるように願っているのでしょうか。

私たちはどうしても自分の事

だけを願いがちです。本来はそれに併せて、「氏子の立ち行きを願う神様の働きが成就することを願う」ということが必要なのではないのでしょうか。

天地金乃神様は折々に「氏子ありての神、神ありての氏子」という言葉で神様と氏子の間柄を説明されています。つまり、「神様があつての人間」であると同時に「人間あつての神様」であるという関係のなかで、神様は人間の立ち行きを願ってくれるのです。ならば「神様あつての」人間が、神様の立ち行きを願うことは当然のことです。しかし、その「神様の立ち行きを願う」というところが我々から抜けてしまっているのです。人間の世界からなかなか難儀が無くならない原因には、そういう部分があるように思われます。

これからは「人（氏子・自分）のことを願う」とともに、「神様のことを願う」ことを忘れずにさせていただくようにしましょう。

## 教会日誌

平成23年8月1日から11月10日まで

8月5日 北海道教区少年少女キャンプ「みどりのひろば」、於東川町キトウシ森林公園、4名参加。

8月6日 帯広市、T家、式年祭。

8月15日 足寄町、T家、合祀祭・納骨祭、併せて式年祭。

8月16日 教会創立記念祭並びに布教功労者報徳祭。

9月3日 北海道青年教師会研修会、沼田町、みよ子先生出席。

9月10日 金光家先祖祭、みよ子先生参拝。

9月11日 帯広市、I家、式年霊祭。

9月11日 士幌町、T家、式年霊祭。

9月13日 函館教会布教百二十年記念祭、教会長夫妻参拝。



写真 教会創立記念祭

布教功労者報徳祭

創立記念祭・教会役員玉串（上右）

報徳祭・祭主玉串（上中）

教会長夫妻玉串（上左）

布教功労者遺族代表

玉串（下右）

信徒総代玉串（下左）



|        |                    |
|--------|--------------------|
| 9月23日  | 秋季霊祭並二代教会長夫人二十年祭。  |
| 9月24日  | 北見市、K家、葬儀式。25日まで。  |
| 10月2日  | 北見市、K藤家、旬日祭。       |
| 10月2日  | 帯広市、M家、感謝祭。        |
| 10月17日 | 網走教会大祭、交流参拝。       |
| 10月22日 | 北見市、I家、式年霊祭。       |
| 10月23日 | 士幌町、M家、式年霊祭。       |
| 10月23日 | 士幌町、A家、葬儀式、24日まで。  |
| 10月23日 | 釧路教会大祭、交流参拝。       |
| 11月3日  | 夕張教会大祭、衛先生祭主・教話御用。 |
| 11月3日  | 北見教会大祭、交流参拝。       |
| 11月5日  | 北見市、K家、合祀祭。        |
| 11月6日  | 帯広教会大祭、交流参拝。       |



写真 秋季霊祭  
この度は二代教会長夫人の 20 年祭を併せて仕えさせて頂きました。  
祭主祭詞奏上（上右）  
教会長玉串（上左）  
祭典後は皆でおはぎを頂きました（下）



## 十勝教会この後の主な祭典行事案内

- ☆薫別講社生神金光大神大祭      12 月 5 日（月）午前 11 時
- ☆越年感謝祭      12 月 31 日（土）午後 1 時 30 分
- ☆平成 24 年・元日祭      1 月 1 日（日）午後 1 時 30 分

## 東日本大震災義援金・台風 12 号被災地へのお見舞いのご報告

「金光教・東日本大震災義援金」の第 2 回集計ならびに送金処理が終了しましたのでご報告いたします。

- ・募金期間平成 23 年 6 月 1 日～ 10 月末日
- ・10 月 31 日、金光教東日本大震災義援金口座へ送金しました。

★震災被害に遭われた関係教会へお見舞いを送らせていただきました。

★台風 12 号の被害に遭われた関係教会へお見舞いを送らせていただきました。